

## 議事（１） 部会・分科会の進捗状況について

## ア 退院支援分科会（連携ルール作業部会）

（ア） 「はこだて入退院支援連携ガイド」（案） ～ 資料 2 参照

（イ） 連携ガイドの周知と利用促進について

- ① 協議会および部会（分科会）の参加者を通じ各団体へ周知
- ② 説明会の開催 ～ 平成 29 年 3 月中を予定
- ③ 連携ガイドの運用開始時期 ～ 平成 29 年 4 月から

（ウ） 来年度（平成 29 年度）の活動予定内容

- ① 連携ガイドの利用状況の検証と内容の更新
  - ・ 利用状況のモニタリング（アンケートなど）を実施
  - ・ モニタリングを踏まえ、内容を更新

**論点** 「はこだて入退院支援連携ガイド」（案）および関連する取組について

## イ 情報共有ツール作業部会

（ア） 情報共有ツールについて

- ① 「はこだて医療・介護連携サマリー」基本ツール（案） ～ 資料 3 参照
- ② 「 同 上 」 応用ツール（案 ※一例） ～ 資料 4 参照

（イ） 各ツールの運用開始にあたっての課題について

第 3 回部会（平成 28 年 11 月開催）で提示された各ツール（案）の運用に向けた医療機関の実務者との意見交換の中で、以下の懸念などが示された。

- ① 基本ツールについて
  - ・ この様式を全市的に統一された規格として運用する方向で取組を進めるにあたり、医療機関によっては、それぞれ既に患者の基本情報をデータ化し、電子システムにより情報共有シートを作成しているところがあり、この基本ツールを、その情報共有シートとは別に改めて記入作成することについては、2重の手間や労力となり、また、紙ベースの手作業であることから、情報転記時のエラーのリスクがあり、効率的では無い。
  - ・ 各医療機関のシステムを改修する場合、その費用の問題があり、また、改修に要する時間的な影響から、運用開始時期が統一できないおそれがある。
  - ・ ツールの運用にかかる手間や労力の増加について、記入作成を実際に行う者の理解を得るプロセスが、高いハードルとなる。

② 応用ツールについて

- ・ 基本情報の情報共有ツールとは異なり、個々の専門に特化した内容の全市場的な統一規格のツールであり、記入作成の事務も重複しないことから、その導入は有用との評価がある。

(ウ) 本格運用までに必要な作業について

基本ツールに関し、記入作成に携わる関係者の過大な負担とならないよう、更なる簡素化に向けた修正を検討

(エ) 運用までのスケジュール（予定）について

- ① 平成29年2月 基本ツールの修正，関係機関のコンセンサス取得
- ② 3月 第4回部会の開催，情報共有ツール（案）の確定
- ③ 4月 試行運用（デモ）による検証
- ④ 4～10月 説明会開催
- ⑤ 11月 運用開始予定

(オ) 来年度（平成29年度）の活動予定内容

- ① 情報共有ツールの利用状況の検証と内容の更新
  - ・ 利用状況のモニタリング（アンケートなど）を実施
  - ・ モニタリングを踏まえ，内容を更新
- ② 効果的な運用拡大方法の検討

**論点** 各ツール（案）および関連するスケジュールや取組について

## ウ 多職種連携研修作業部会

### (ア) 第2回函館市医療・介護連携多職種研修会について

研修概要：資料5参照

開催日時：平成29年2月11日（土） 14:00～17:00

参加予定：272名（グループワーク参加245名，懇親会参加134名）

※ 平成29年1月20日時点

### (イ) 次年度（平成29年度）の研修計画（案）について

研修計画（案）：資料6参照

### (ウ) 研修情報の一元化と提供の方法について

- ・ センターのホームページに，各団体から収集した研修開催情報を一元化して掲載し，情報提供する。
- ・ 事例検討や研修方法について，先進的な活動を行っている医療・介護関係者との協働を図る。

**論点** 研修計画（案）および研修情報の一元化と提供の方法について

## エ 急変時対応分科会（連携ルール作業部会）

(ア) 目的 ～ 高齢者の「急変時の対応」に関する仕組み作り

(イ) 課題 ～ 入院医療機関の急変時の受入対応のあり方

(ウ) 「急変時の対応」における体制について

① 「急変時の対応」が特に必要な患者・利用者のイメージについて

資料7参照

② 体制の内容について

資料8参照

(エ) 体制づくりに向けた実務者レベルでの協議・確認の状況

① 急変時対応フローについて 資料9参照

② 二次救急病院実務者（コアメンバー）との協議

コアメンバー：函館中央病院，函館五稜郭病院，市立函館病院

・ 函館地域医療連携実務者協議会における説明会の実施協議

③ 協力医療機関実務者（コアメンバー）との協議

コアメンバー：共愛会病院，亀田病院，高橋病院

・ 協力医療機関のネットワーク形成に関する協議

④ 函館市消防本部との協議

・ 救急医療に関する講演会の実施協議

・ 急変時の情報共有に関する意見交換

(オ) 体制の周知と説明について

① 説明会の開催 ～ 平成29年3月中の開催を予定

② 体制の運用開始時期 ～ 平成29年4月から

(カ) 来年度（平成29年度）の活動予定内容

① 体制の検証

議事（２） 函館市医療・介護連携支援センターについて

ア 函館市医療・介護連携支援センターの概要 資料１０参照

イ オープンにかかる広報について

（ア）市政はこだて４月号への掲載

（イ）報道機関への報道依頼

（ウ）リーフレットの配布

ウ ホームページの公開について 資料１１参照

（ア）公開時期 平成２９年４月１日から

（イ）アドレス <http://hakodate-ikr.jp>

（ウ）「函館市在宅医療・介護連携マップ」 ～ 平成２９年２月公開済

議事（３） 平成２９年度のスケジュールについて

資料１２参照